

ものづくり企業バンク詳細情報

新規登録日： 2012年12月27日

最終更新日： 2017年9月30日

会 社 所 在 地 等			
会 社 名	株式会社サンライン		
代 表 者	代表取締役 中野 郁夫		
所 在 地	〒742-0315 山口県岩国市玖珂町1600-21		
T E L	0827-82-6761	F A X	0827-81-0034
設 立	1977年（昭和52年）8月8日		
従 業 員 数	176名		
年 商	3,012百万円 （2017年1月期）		
事 業 内 容	レジャー用及び水産,業務用釣り糸の製造・加工・販売,産業資材用途モノフィラメントの製造・加工・販売,各種釣具の仕入・販売		
ホームページ	http://www.sunline.co.jp		
概 要	<ul style="list-style-type: none"> ●関係箇所との情報共有化をはかり、『スピード』、『チャレンジ』、『イノベーション』の精神のもと独自技術の開発に努めています ●大手材料メーカーや大学研究機関との連携・共同研究により、最新テクノロジーを駆使した 開発を進めています。 ●新製品開発は、情報→分析→設計→開発→評価→製品化 のフローで行っています。 		

我が社はこのような会社です ～ 企業理念やビジョンについて ～



サンラインは、ポリアミド樹脂、ポリエステル樹脂及びフッ素系樹脂からなるモノフィラメントを製造・販売しています。また高強力ポリエチレンからなるマルチフィラメントも取り扱っています。

当社の販売先は、国内全域はもとより、海外営業部から北米、欧州、アジア、豪州など40カ国を超える地域にレジャー用釣り糸や水産資材を販売しています。

また、産業資材というカテゴリーでは、“お客様のニーズに対し、いかに的確に応えるか”という命題をもって、工業資材、農業資材、水産資材、衣料、スポーツ等の幅広い分野での開発と提供に取り組んでいます。

我が社の強みはココです ～ 特徴的な取り組みについて ～



[情報プロセス] ●サンラインは、世界40カ国以上のユーザーとの取引があり、日々新たな世界の情報を入手しています。 ●各分野に約400人強のフィールドテスターを配置し、実釣を経験した情報発信を行っています。

[分析プロセス] ●あらゆる角度から糸を分析し、次世代の糸づくりを目指しています。 ●特殊顕微鏡を駆使した結晶レベルの観察・解析が可能です。

[設計プロセス] ●分子構造をベースにした材料設計技術による糸づくりが基本です。 ●芯鞘構造（二重構造）や樹脂加工を施したオールラウンドモノフィラメントの開発も 自社技術の範疇に入っています。

[開発プロセス] ●ナイロン、フロロカーボン、ポリエステルそれぞれの専用紡糸設備を完備し、多種多様な糸作りをスピーディーに進めることが出来ます。 ●素材や加工技術を各大学と共同研究を行い、次世代の釣糸製品について研究開発しています。（東京工業大学・福井大学・広島市立大学）

[評価プロセス] ●サンラインの糸の性能は、数値評価を基本姿勢としています。 ●実験室での評価の後、必ず、フィールド評価を実施し、糸の総合評価を行っています。

[製品化プロセス] ●品質至上主義の下、各分野のフィールドテスターや国内の販売店を訪問して情報を集める20数名の営業担当者などから得られる顧客ニーズを取り込んだ製品化を行っています。

我が社のエース

職種	製品の品質管理及び分析
専門作業名	顕微鏡分析
技能の優れた点	釣糸が破断した原因の具体的な分析が出来る。 お客様に理解して頂けるよう分析結果を評価し説明できる。
経験年数	10年
関連する資格	走査型電子顕微鏡の操作分析技術。 光学顕微鏡の操作分析技術。

採用担当者から一言 ～ 人材育成の方針について ～

- ・当社が求める人材とは、社会人として、組織の一員として明朗、快活で柔軟な思考ができること。
- ・製造メーカーとして顧客思考に徹し、向上心を持って社外のニーズに応える仕事ができる人。
- ・会社を社会の公器と捉え、何人からも信頼される行動の基、グッドコミュニケーションに努めることが出来る人。

県内高校への 協力体制	企業見学 可	要相談
	講話 可	
	技術指導 可	